

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 腎疾患における尿蛋白変動についての後ろ向き観察研究 ～簡易指標としての尿蛋白変動を用いた低侵襲な腎疾患鑑別の有用性～
	●研究の対象 2012 年 4 月から 2025 年 9 月に当院で腎生検を受けられた方 約 100 名
	●研究の目的 腎疾患の原因疾患診断の基本となる標準的な検査は腎生検ですが、抗凝固薬を内服していること等から腎生検を行えない患者さまが存在します。 その場合適切な治療を選択することが困難となることが予想されます。 これまでに膜性腎症では尿蛋白の変動が大きい症例が存在することは現時点で専門家の間で広く支持されている考え方として報告されていますが、一般化はされておらず、他の腎疾患において尿蛋白が変動するかどうかは明らかではありません。 今回、我々は腎疾患および組織所見と尿蛋白変動の関連の有無を評価し、その他の診療で得られた検査結果や症状の情報の違いについても評価することを検討しています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日 から 2027 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、尿検査の結果 など 試料：腎生検検体、血液検体、尿検体
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 生活習慣関連疾患重症化予防医学講座 岩倉考政
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。 連絡方法は、連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 浜松医科大学 内科学第一講座 担当者： 近末 綾子 TEL： 053-435-2111（代表） E-mail： ayako-chi@hama-med.ac.jp